

NO. 18 「7年生が5年生に教える」

令和4年9月21日

9月15日（木）東能勢小中学校・中学校校舎で「理科」の公開研究授業が行われました。「顕微鏡の使い方」を7年生が5年生に教えるという小中一貫校ならではの取り組みでした。まず7年生と5年生がペアになり、第1理科室と第2理科室に分かれて席につきました。理科担当の松岡先生からのガイダンスが行われたあとは、顕微鏡を前に、7年生が使い方を説明しながら操作していきます。

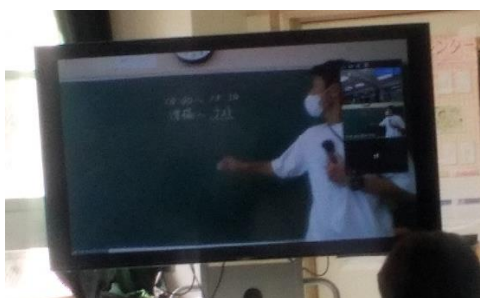
次に5年生が教えてもらった手順で顕微鏡を操作していききました。



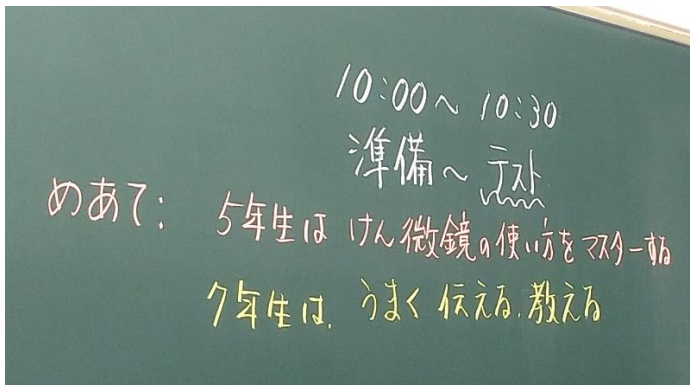
1, 2年生が中学校の運動場で、合同運動会の練習を始めました



5, 7年生のペアで1台の顕微鏡を使います

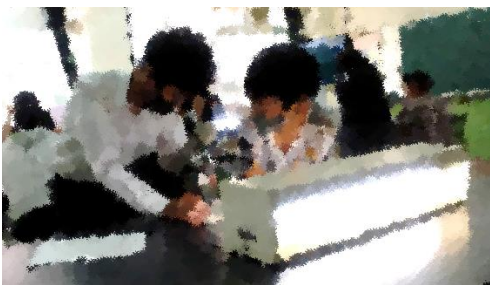


隣の第2理科室の5, 7年生ペアにも、プロジェクターに先生の顔が声が説明が届きます。（カメラで撮影しながら隣の教室に動画を送ります）



先生から今日のめあてが示されます

「今日は7年生が先生やで！準備できた所から始めましょう。」



まず、投光器の前に顕微鏡を置いて視野を明るくします



「よく見ときやー」7年生が説明しながら実演します



「分かったかなあ？さあやってみよか！」と7年生



「うーんお姉ちゃん、うまくピント合わへんわ」と5年生



「最後は、今日やったことテストするよ、プレパラート置いてやるよ。落ち着いてね！」



「今日やったことを、プリントにまとめるよ！顕微鏡の名前も覚えられたかなあ？」

授業が終わって「今日の授業どうだった？」と5年生に尋ねると

「むっちゃ緊張した、でも顕微鏡使えるようになったで！」

「教える方も大変なんやで！」と笑いながら7年生

「お兄ちゃん、昼休みドッチしよな。」「よっしゃ、またあとでな」と7年生

そんな会話をしながら理科の授業は終わりました。